

Pフレンド

第23号

発行責任者：「ぱとな」登録団体連絡会
事務局：こまがね市民活動支援センター
発行日：平成26年6月1日
電話番号：82-1150 FAX：82-1151
Eメール：kmcenter@cek.ne.jp
URL：http://www.patona-k.com

こまがね市民活動支援センター「ぱとな」



駒ヶ根市壮年ソフトボール連盟の開会式選手宣誓の様子（H26. 4. 19）

4月19日に駒ヶ根市壮年ソフトボール連盟の開会式が市営グラウンドで開催されました。今年度は、壮年の部14チーム、実年の部6チーム、シニアの部10チームの計30チームが登録をし、10月まで各部ごとに総当たりのリーグ戦が166試合行なわれます。

登録団体紹介

P2

伊那谷生と死を考える会 紹介

登録団体情報

P3,4

駒ヶ根観光ボランティアガイドの会・活動紹介
特定非営利活動法人天竜川ゆめ会議・写真コンテスト作品募集
侵略植物駆除作業開催
ハッチョウトンボを育む会・・・ハッチョウトンボ観察会開催

イベント情報

P4,5

市内のイベント情報など
まちなか井戸端会議開催報告

助成金情報

P6,7

各種助成金の情報

「ぱとな」情報

P8

お知らせ・「ぱとな」紹介・まちなか豆知識など



い な だ に せい し かんが かい 伊那谷生と死を考える会

～一緒に生と死の対話を
深めてみませんか?～

伊那谷生と死を考える会
事務局：北澤 弘子さん

「伊那谷生と死を考える会」事務局の北澤さんに会の活動について紹介をして頂きました。



定例会の様子

「伊那谷生と死を考える会」は、主にどんな活動をしていますか？

伊那谷生と死を考える会は、平成3年に死生学を専門とする上智大学名誉教授アルフォンス・デーケン氏の講演会が駒ヶ根で行なわれたことがきっかけとなり発足しました。当会は、デーケン氏の提唱する『死への準備教育』の一環として、人間の生と死に関して様々な面から考え、学び、行動する開かれた場を全国的に展開する「生と死を考える全国協議会」へ加盟をし、活動しています。

4月から12月に開催する月に1度の定例会では、学習会、フリートーキング、ビデオ視聴、読書会などを行ない、このほか講演会や公開セミナーなどを開催したり、死別体験者の分かち合いの会メモリアルサービスを開いたりしています。現在、会員数は85名で、広く市民に生と死の文化を発信しながら活動しています。

活動するのに大切にしていることは何ですか？

お互いに問題点を話し合うことから、自分で解

決を得ることが大切だと考えています。そのため、指導者やカウンセラーは置かずに、お互いに自分の思いを相手に押し付けないこと、発言者の言葉を十分に聴くこと、そして自分で考えることを発会からの基本理念として活動を続けています。

会の活動に参加するにはどうすればいいですか？

会員資格は特にないので、どなたでも入会することができます。当会は、特定の宗教や思想、政治とは関わりはありません。入会を希望する方は、住所・氏名・電話番号を事務局までお知らせください。年会費は3,000円です。会員の皆さんには、毎月の通信で、定例会の案内やその他の情報をお知らせしています。

今一番PRしたいことは何ですか？

生と死について考えることは、重苦しい感じがしますが、参加した方は、以外に明るいとの感想を持たれるようです。

終活を考えることは、かけがえのないいのちの意味を問うこと、そしていのちを尊重しあう社会を築くことにつながるものと信じています。一緒に生と死の対話を深めてみませんか？お待ちしております。

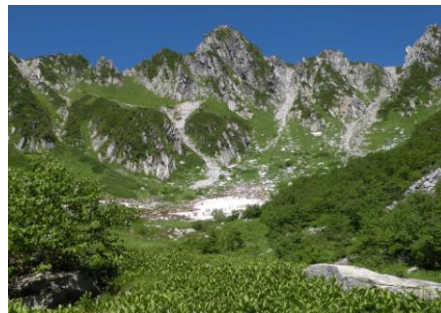
◇代表者：藤塚 義誠
◇連絡先：北澤 弘子（事務局）
住所 駒ヶ根市赤穂 502-10
TEL 0265-83-2336
◇活動日時：4～12月 毎月1回（日時不定）

駒ヶ根観光ボランティアガイドの会

平成26年度新役員の紹介（任期は27年度まで）

過日の総会に於いて会長以下新役員が決まりましたのでお知らせします。

会 長	赤羽 明人
副会長	米山 進
〃	大口 國江
理 事	岩澤 茂夫
〃	飯田 守
〃	藤田 宜久
監 事	遠山 雄起生



会の発足から13年目を迎えて、新しい観光ガイドのあり方を求めながら、駒ヶ根市の自然・文化・歴史の魅力を紹介し、発信していきたいと考えて会員一同研鑽に励んでおります。団体・サークルの皆様の余時間にご案内できれば幸いと存じますので、お声かけをお待ち申し上げます。

申し込みは、駒ヶ根観光案内所 81-7700 まで

特定非営利活動法人「天竜川ゆめ会議」

「第4回 わたしの大好きな水辺の風景 写真コンテスト」作品募集

募集作品：

天竜川水系に関する水辺の写真

募集期間：

平成26年8月1日（金）～
平成26年9月30日（火）
当日消印有効

応募方法：

指定の応募票に必要事項を記載し、作品の裏面に貼付して応募する。

応募先：

駒ヶ根市赤穂14616-67
（株）緑地計画内
特定非営利活動法人
天竜川ゆめ会議写真
コンテスト係

第4回
わたしの大好きな水辺の風景
写真コンテスト

天竜川ゆめ会議では、天竜川流域のすばらしい景観を再確認するため、「わたしの大好きな水辺の風景」をテーマとした写真コンテスト開催します。

特定非営利活動法人「天竜川ゆめ会議」②
天竜川流域侵略植物駆除 7.27 大作戦開催

日 時：7月27日(日曜日)
午前7時から10時まで
(小雨決行)

場 所：「水辺の楽校」新宮川合流点

内 容：アレチウリ駆除作業

日 程：7時00分 受付開始
7時30分 開会式
7時50分 作業開始
10時00分 作業終了、閉会式

服 装：長靴・長袖・長ズボン・帽子・
水筒・タオル・革手袋又は厚手
のゴム手袋・鎌(持参できる人)
濃い色の服装は避けてください。

問合せ先：81-1368

※ 事前の申込みは必要ありません。参加
いただける方は、当日集合場所へお集
まりください

2014 年

ハッチョウトンボ 駒ヶ根市「市の昆虫」
環境省指標昆虫
世界一小さい

観察会

場 所

駒ヶ根市南割公園
トンボの池

日 時

6月28日(土) 両日
29日(日) 午前10時~12時



こまかっぱ
も来るよ

地元のメダカもお分けします
飼育説明書付 入れ物を持ち下さい。
ピンパッチ・Tシャツの販売
販売代金は保護活動に使用させていただきます

ハッチョウトンボを育む会

<http://www.cek.ne.jp/~haccho-tombow/>

問い合わせ Tel 090-6562-3017

共催 駒ヶ根市教育委員会

イベント情報

(市内のイベントや登録団体のイベント情報を中心にまとめました。)

月	日	曜日	イベント	時間	場 所	主催・問合せ先	備 考
6	15	日	第34回地蔵尊すくすく縁日	10:00~ 15:00	銀座通り	“あつい!こまがね”	アサリとかき氷の販売をします。
6	25	水	吊るし飾り教室	13:30~ 15:30	駅前ビル アルパ3階	“あつい!こまがね” 81-7303(今井)	材料費：無料
6	28 ・ 29	土 ・ 日	ハッチョウトンボ観察会	10:00~ 12:00	南割公園 トンボの池	ハッチョウトンボを育 む会事務局 090-6562-3017	地元のメダカをお分 けするので、入れ物 をお持ちください。
6	29	日	歌声喫茶ともしび60周年記念企画 「歌声喫茶ともしび in 中川村」	13:00 開場 13:30 開演	中川文化センタ ー大ホール	駒ヶ根歌声喫茶実行委 員会 83-1462	前売入場券2,000円 (当日2,500円)
7	19	土	第22回駒ヶ根市小学生相撲大 会	8:30~ 受付 9:30~ 競技	駒ヶ根高原切石 公園(雨天の場合 市民体育館)	駒ヶ根市撲大会実行委 員会 83-2111 内線 300(倉田)	ボランティアを募集 しています。
7	20	日	第35回地蔵尊すくすく縁日	15:00~ 19:00	銀座通り	“あつい!こまがね”	かき氷の販売をしま す。
7	23	水	吊るし飾り教室	13:30~ 15:30	駅前ビル アルパ3階	“あつい!こまがね” 81-7303(今井)	材料費：無料
7	27	日	天竜川流域侵略植物駆除 7.27 大作戦(アレチウリ駆除作業)	7:00~ 10:00	駒ヶ根市中沢 「水辺の楽校」 新宮川合流点	特定非営利活動法人 天竜川ゆめ会議事務局 81-1368	服装：長靴・長袖・長 ズボン・帽子・水筒・ タオル・軍手・鎌
8	2	土	ハイドロカルチャー講座	14:00~ 16:00	ぱとな	ガーデニング美由(林) 090-1828-3770	申込締切7月26日 費用：2,000円

第14回「まちなか井戸端会議」を開催しました!

第13回のテーマ「私だけが知っている駒ヶ根のヒミツ」に対して参加者の方々から紹介された駒ヶ根市内の各所を中心にコースを決め、駒ヶ根市のヒミツ（魅力）を皆さんで共有していただくとう市内めぐりを計画し、5月25日（日）に実施しました。

市内外から13名の方と市の職員、支援センターの職員、総勢18名が参加し、市のマイクロバスで出掛けていきました。1日かけて、景色の良い所、日頃は気にもしない様なところ、一般の観光雑誌等に掲載されていないような場所を中心に廻りました。

「ぱとな」へ戻ってから、感想をお聞きすると、参加者の皆さんに「駒ヶ根市の良い場所を再認識した」「近くを通るのにこんな所は知らなかったという場所へ行けた」などの感想が出されました。このような感想の中に、「せっかく良いところがあるのに、案内板、案内表示などが無いのは残念、簡単なものでよいので立てたらどうか」など意見も出されました。

次回の「まちなか井戸端会議」は7月の予定ですが、今回出された感想、意見を参考にテーマを決め、案内をしていきます。駒ヶ根市のまちづくり、活性化に興味のある方、駒ヶ根市が好きな方で、お茶を飲みながら一緒にお話ししたいという方は、是非「まちなか井戸端会議」にご参加ください。



ふるさとの丘での集合写真

市内めぐりのコース

- ①古城公園 → ②横井端の道 → ③大御食神社 → ④下平田沢川沿い → ⑤栗林神社周辺
→ ⑥レストラン菜々ちゃん(昼食) → ⑦ふるさとの丘 → ⑧旧木下家住宅 → ⑨折草峠
→ ⑩陣馬形 → ⑪吉瀬



古城公園あかつきの塔から
市内を眺める様子



横井端の道散策の様子



めったに見学できない
大御食神社の本殿



車窓から望む下平田沢川沿いの田園風景



陣馬形から駒ヶ根市を一望する様子

駒ヶ根市 協働のまちづくり支援補助金制度

- 対象活動 : 市民団体などが行う新たな活動または今後の発展性があると認められる活動で、協働のまちづくりの趣旨に沿った事業。
- 補助申請できる方 : 市内において社会的または地域的な課題に取り組んでいる市民団体などで、次の要件をすべて満たす団体。
 - ①団体設立から1年以上継続して公益的・公共的な活動を行っていること。又は補助金申請後1年以上継続して公益的・公共的な活動を行う見込みがあること。②代表者を含め3人以上の構成員を示すことができること。③団体規約(定款)、事業計画、予算及び決算を示すことができること。
- 補助金額 : 補助金交付の場合、補助率10/10以内、50万円限度(原材料提供のみの場合は40万円限度)
市民団体設立の場合、補助率10/10以内、10万円限度
- 問合せ先 : 駒ヶ根市 総務部 企画振興課 企画調整係
〒399-4192 駒ヶ根市赤須町20号1号
TEL : (代表) 0265-83-2111 (内線242) FAX : 0265-83-4348
メール : kizai@city.komagane.nagano.jp
URL : http://www.city.komagane.nagano.jp

応募期間

随時

公益財団法人みずほ教育福祉財団 第12回(平成26年度)配食用小型電気自動車寄贈事業

- 助成対象 : 以下の条件を満たすグループ。①原則週1回以上の配食活動を行っているボランティアグループ(NPO等非営利団体・法人を含む。)②現在の配食活動において、配食用の車両が不足し、本助成により運営が円滑化されるグループ。
- 助成金額 : 100万円(配食用小型電機自動車1台分)
- 問合せ先 : 公益財団法人みずほ教育福祉財団福祉事業部
〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-1-5 みずほ銀行内
TEL : 03-3596-4532 FAX : 03-3596-3574
メール : FJP36105@nifty.com
URL : http://www.mizuho-ewf.or.jp/

応募期限

H26.6.13

(金)

消印有効

平成26年度ニッセイ財団 高齢社会助成(実践的研究助成)

- 研究対象 : 「高齢社会助成対象分野・テーマ」に対する課題を明確にした実践的研究。
- 助成対象 : ①実践的課題研究 : 代表研究者が研究者または実践家。
②若手実践的課題研究 : 39才以下の研究者。
- 助成金額 : ①実践的課題研究 : 平成26年10月より2年間 1件最大400万(1年最大200万)。②若手実践的課題研究 : 平成26年10月より1年間 総額400万(1件最大100万)。
- 問合せ先 : ニッセイ財団 高齢社会助成 事務局
〒541-0042 大阪市中央区今橋3-1-7 日本生命今橋ビル4F
TEL : 06-6204-4013 FAX : 06-6204-0120
URL : http://www.nihonseimei-zaidan.or.jp/kourei/02_gaiyo.html

応募期限

H26.6.15

(日)

消印有効

ファイザー株式会社 ファイザープログラム〜心とからだのヘルスケアに関する市民活動支援

- 助成対象 : 中堅世代の人々(主に30・40・50歳代)の心身のケアに関する課題について、市民団体が行う市民活動および市民研究
- 対象団体 : 次の要件を満たした団体に限る(個人は対象とならない)。
①民間の非営利団体であること(法人格の種類や有無を問わない)。②市民が主体的に参加して活動する団体であること。③日本国内に活動拠点があり、原則として2年以上の活動や研究の実績があること。④団体の目的や活動内容が、政治・宗教などに偏っていないこと、また反社会的勢力とは一切関わっていないこと。
- 助成金額 : 1件あたり上限300万円
- 問合せ先 : ファイザープログラム事務局 市民社会創造ファンド
〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1-4-3 日本橋MIビル1階
TEL : 03-5623-5055 FAX : 03-5623-5057
URL : http://www.pfizer.co.jp/pfizer/company/philanthropy/pfizer_program/announce/

応募期限

H26.6.20

(金)

必着

Panasonic NPOサポート ファンド 環境分野助成

- 対象分野 : 地球温暖化防止(省資源・省エネルギー、自然エネルギー、その他)、循環型社会形成、森林保全・緑化、野生生物保護、大気・水・土壌環境保全、環境保全型農業、等
- 助成対象 : 環境問題に取り組み、強い市民社会の創造を目指す NPO/NGO(NPO 法人・任意団体・財団法人・社団法人など)
- 助成金額 : 上限200万円
- 問合せ先 : パナソニック株式会社 ブランドコミュニケーション本部 CSR・社会文化グループ
〒105-8581 東京都港区東新橋1-5-1
TEL : 03-3574-5665
URL : http://panasonic.co.jp/citizenship/pnsf/npf_mina2.html

応募期間

H26.7.16

～7.31(木)

必着

公益財団法人太陽生命厚生財団 平成 26 年度助成事業

- 対象事業 : ①事業助成 : ボランティアグループ等が在宅高齢者または在宅障害者等のために福祉活動や文化活動および復興支援を行うために必要な費用または機器、機材、備品等を整備するための費用に対し助成する。
②研究助成 : 法人または民間機関等が実施する老人保健、老人医療、生活習慣病に関する研究または高齢者福祉に関する研究または調査に必要な費用に対し助成する。
- 助成対象 : ①事業助成 : 地域福祉活動を目的とするボランティアグループおよび NPO (法人格の有無は不問)。
②研究助成 : 非営利の民間団体等および個人
- 助成金額 : ①事業助成 : 1 件 10 万円~50 万円 合計 2,000 万円
②研究助成 : 1 件 30 万円~50 万円 合計 300 万円
- 問合せ先 : 公益財団法人 太陽生命厚生財団 事務局
〒143-0016 東京都大田区大森北 1-17-4 太陽生命大森ビル
TEL・FAX : 03-6674-1217
URL : http://www.taiyolife-zaidan.or.jp/promotion_recruitment

応募期限
平成 26 年
6 月末日
必着

公益財団法人ヨネックススポーツ振興財団

- 対象事業 : 原則として、スポーツ事業に必要な全ての経費が対象。主に、会場設営費、消耗品費、印刷製本費、通信運搬費、スポーツ用具費、講師・審判等への謝礼、旅費等。
- 対象団体 : ①青少年スポーツの振興に関する事業を積極的に行い、奨励または自ら行い、かつその活動を3年以上継続して実施している団体。②スポーツ振興を主たる目的とする公益社団法人、公益財団法人、一般社団法人または公益財団法人。上記以外の団体であって以下の要件を備える団体(特定非営利活動法人等)
ア. 定款、寄附行為に類する規約等を有すること イ. 団体の意志を決定し執行する組織が確立していること ウ. 自ら経理し監査する等会計組織を有していること エ. 団体活動の本拠としての事務所を有すること
- 助成金額 : ①指定の期間に予定する一つの事業予算の 2 分の 1 で概ね百万円以内
- 問合せ先 : 公益財団法人ヨネックススポーツ振興財団 事務局
〒113-8543 東京都文京区湯島 3-23-13 ヨネックス株式会社内
TEL : 03-3839-7195 FAX : 03-3839-7196
メール : zaidan@yonex.co.jp
URL : <http://www.yonex.co.jp/zaidan/joseikin.html>

応募期限
H26.6.30
(月)
消印有効

公益財団法人 都市緑化機構 緑の環境デザイン賞募集

- 応募対象 : ①場所 : 公有地、民有地を問わず、小規模であっても公開性があり、緑化することにより地域の景観形成や環境向上に寄与する場所であること。(都市計画区域内であること。)②植栽等 : 緑化助成による植栽等は、形状として一団、もしくは列状であること。③土地の所有 : 応募者と土地の所有者または管理者が異なる場合は、土地所有者または管理者から緑化プランの実現(緑化助成工事、維持管理等)に関して同意を得られる見通しがあること。④応募者 : 地方の公益法人、特定非営利活動を行う団体、学校、商店組合、町内会、事業所等の法人や任意団体、地方公共団体、公団・事業団・公社、区画整理や再開発を行う組合等の団体及びこれらと同等以上の団体であること。
- 表彰 : 国土交通大臣賞 2点以内 表彰状(国土交通大臣名)、副賞(緑化助成) 緑化大賞 数点 表彰状(主催者名)、副賞(緑化助成)
- 問合せ先 : 公益財団法人都市緑化機構内「緑の環境デザイン賞」事務局
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-2-4 田村ビル2階
TEL : 03-5216-7191 FAX : 03-5216-7195
URL : <http://urbangreen.or.jp/ug/blog/category/green-design/page/2/>

応募期限
H26.7.31
(木)
消印有効

公益信託 大成建設自然・歴史環境基金 2014 年度助成金募集

- 助成対象 : 国内ならびに開発途上国の自然・歴史環境の保全活用にかかわる活動や研究。
- 対象団体 : 国内に拠点を置き、自然・歴史環境の保全活用のために、活動や研究を行う非営利団体等。
- 助成金額 : 助成金総額 : 1,500万円程度、助成件数 : 30件程度。
- 問合せ先 : みずほ信託銀行株式会社 個人業務部 福祉信託係
『公益信託 大成建設自然・歴史環境基金』事務局
〒103-8670 東京都中央区八重洲 1-2-1
TEL : 03-3274-9210 FAX : 03-3274-9504
メール : koueki_t@mizuho-tb.co.jp
URL : http://www.taisei.co.jp/about_us/society/kikin/html/gist.html

応募期限
H26.7.31
(木)
必着

大竹財団助成金

- 対象活動 : 優先助成分野 ①平和 ②環境/資源エネルギー ③人口/社会保障 ④国際協力
- 助成対象 : 公益、社会問題の解決に取りくむ事業を行い、日本国内に事務所や連絡先をもつNPO、任意の市民団体、ボランティアグループ、個人
- 助成金額 : 助成上限額50万円
- 問合せ先 : 一般財団法人大竹財団 事務局
〒104-0031 東京都中央区京橋 1-1-5 セントラルビル 11F
TEL : 03-3272-3900 FAX : 03-3274-1707
URL : <http://ohdake-foundation.org/index.php/grant>

応募期間
通年

ぱとな情報

お知らせ

毎月、ケーブルテレビの番組“伊南人物交差点”の収録がぱとなを会場に行なわれています！

今年の1月からエコーシティー駒ヶ岳で放送されている番組“伊南人物交差点”は、毎月、駒ヶ根市、飯島町、中川村、宮



田村の伊南地域の方が1人ずつゲストとして出演し、出演者の方の生い立ちや現在取り組んでいる活動、今後の夢などについて紹介しています。

番組の企画は、こまがね市民活動支援協会が中心となり、ボランティアで進めています。司会は同協会の副会長 有賀和枝さんが担当しています。

放送日時は、エコーシティー駒ヶ岳のホームページ番組表「みなこいチャンネル」などでご確認ください。

「ぱとな」紹介

展示コーナーの作品を観に来てください！！

ぱとなでは、北側の壁とパーテーションを利用して展示スペースを設けています。登録団体や市内で活動する団体の皆さんの芸術作品や写真などの展示に利用して頂いています。展示は、どなたでも自由に鑑賞して頂くことができますので、お気軽に足をお運びください。

また、展示をご希望の方は、ご相談に乗りますので、お声かけください。



展示コーナー情報

6月・7月の展示について

- 6月 「文化刺繍作品展示」
赤穂公民館文化刺繍の会
- 7月 「ちぎり絵作品展示」

※ 写真や絵などの展示をしたい方は、お気軽にご相談ください。



6月・7月の休館日

6月

- 2日(月)
- 9日(月)
- 10日(火)
保守点検日
- 16日(月)
- 23日(月)
- 30日(月)



7月

- 1日(土)
保守点検日
- 7日(月)
- 14日(月)
- 21日(月)
海の日
- 22日(火)
- 振替休館
- 28日(月)

開館時間： 火～土曜日 10:00～19:00
(但し会員の会議等の予約は 20:50 まで)
日曜日 10:00～18:00
定期休館日：毎週月曜日
保守点検日：火曜日(月1回)
夏季・年末年始休館・祝祭日

まちなか豆知識

商店街の方にきいちゃいました！

『履物屋は、鼻緒と下駄のコーディネーター』

下駄は、日本の伝統的な履物です。下駄には、鼻緒と体重を乗せる台の部分があります。一般の方はその両方を合せたものを下駄と呼びますが、専門家は台の部分を下駄と呼んでいます。それぞれ、鼻緒は鼻緒職人、台の部分は下駄職人によって作られています。

そして、それらの別々の物を上手くコーディネートし、上げるのが履物屋の仕事です。この台にはどういう鼻緒が合うのか、お客様の好みや予算に応じて、たくさんある商品の中から組み合わせをアドバイスしています。お客様の足に合わせて台に鼻緒を上げるので、安全で履き心地の良い下駄を履いて頂けます。

(セキヤ履物店)

